

長雨の後に…

今年の梅雨は、雨が長く降り続きました。雨が降っている間は外へは出られません。なので、学習園や花壇の様子がどのようにになっているかわかりませんでした。

先日行われた4年生の生き物調査の時、植物の様子がずいぶん変わっていました。



なんと、ヘチマのつるが桜の木の上の方まで伸びているではありませんか。

しばらく見ない間に、4年生学習園のヘチマが隣のヒヨウタンの畑を通り越して、さらに大きな桜の木の枝を這い上がり、上の方までつるが伸びていました。このつるの伸びっぷりには脱帽です。

でも、これがつる植物の真骨頂なのです。このように、高いところまでつるを伸ばすことによってたくさん日光を葉に受けて光合成することができます。

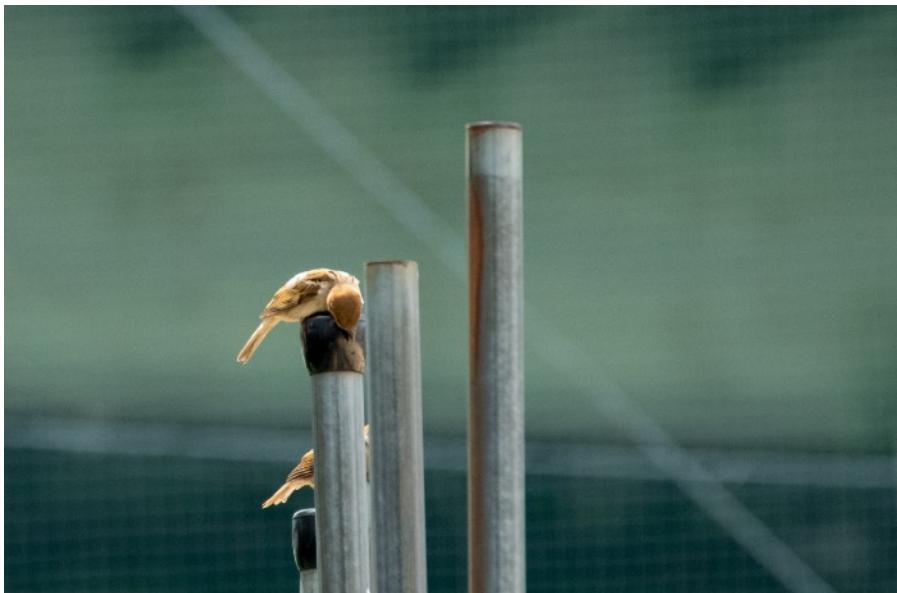


葉の間を見ると…。
なんと、巨大なヘチマの実が…。



ヒョウタンの実も大きくなっています。

長雨の間、しばらく見ない間にヘチマやヒョウタンはこんなにまで成長していました。



今年生まれたスズメたちも元気一杯。このスズメは、登り棒の黒いキャップに映る自分の姿に興味があるようです。

春に生まれたスズメのヒナたちも、大きく成長しています。学習園や花壇、植え込みの間を元気に飛び回っています。

猛禽やハシブトガラス、猫といった捕食者たちの攻撃をかいくぐり、夏、冬といった厳しい季節を耐え抜いて、来年の春を迎えた者たちだけが、繁殖のチャンスを得ることができます。

そして…。



いつの間にか、ヒマワリの花が咲いています。

これまた、長雨でしばらく見ない間に、夏の花壇の主役とも言えるヒマワリの花が咲いていました。咲いているヒマワリの花には、たくさんのシロテンハナムグリが群がっていました。中には、もう花が終わりかけで、たくさんの実をつけた花が重そうに下向きになっている株もありました。ヘチマやヒヨウタンと同様、ヒマワリの成長も目を見張るものがあります。

あたりには、世界で最もやかましいとも称されるクマゼミの、にぎやかな鳴き声が響いています。

そろそろ梅雨明けかなあ～。